

# リスクアセスメント報告書 (事例2)

No.

対象作業名 : 集材作業

実施者氏名 :

報告書作成日 :

No.	作業名	危険要因の内容	危険要因の洗い出し		リスク見取り(現状)		リスク評価(現状)		リスク低減対策		対策後のリスク評価(予測)		優先順位
			～するとき	災害に至るプロセス ～(事故の型)になる	可能性	重大性	可能性	重大性	可能性	重大性	可能性	重大性	
1	スタンクヤード集材作業	過大な張力	～するとき 材を引き上げるとき	災害に至るプロセス ～(事故の型)になる 転倒、転落する	×	×	5	1	①リーフ弁により張力が出ないようにする ②転倒防止装置(フレード)を装着する ③安全作業(教育)を徹底する ④傾斜計をつけ、一定角以上は引き込まないようにする	○	○	3	2
2	クワーンヤード集材作業	ワイヤロープ	～するとき 内角作業をして	災害に至るプロセス ～(事故の型)になる ワイヤロープに激突される	○	×	3	3	①架線集材材から車両集材材に変更する ②内角側に立木を残す ③内角作業は絶対に行わない	○	○	1	1
3	車両集材作業	集材木	～するとき 木寄せ集材するとき	災害に至るプロセス ～(事故の型)になる 集材木に激突される	△	△	3	1	①高密度集材路を入れ、木寄せ距離を短くする	○	○	1	1
4	車両集材作業	林内作業車	～するとき 林内作業車を運転したとき	災害に至るプロセス ～(事故の型)になる 立木と作業車の間に身体を挟まれた	△	×	4	1	①リモコン操縦の車両に改良する ②運転席から降りて運転しない	○	○	1	2
5	プロセッサ造材作業	造材木	～するとき 枝払いしたとき	災害に至るプロセス ～(事故の型)になる 他の作業者が近くで材の整理をしていたので	△	×	4	2	①接近ブザーを開発、携帯させる ②材整理の作業者を配置しない	○	○	2	1

## リスクの評価基準

災害の可能性	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

災害の重大性	記号
極めて重大	×
重大	△
軽微	○

## リスクレベル

リスクの見積り	リスクレベル
××	5
×△、△×	4
○×、×○、△△	3
○△、△○	2
○○	1

## リスクへの対応

リスクレベル	リスクへの対応
5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
4	受け入れ不可能なリスクであり、根本的な対策を実施する必要がある
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)